



令和3年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年11月4日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9887 URL <https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 丹沢 紀一郎

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 令和2年11月13日

配当支払開始予定日

令和2年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第2四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第2四半期	44,931	13.7	2,455		2,373		2,531	
2年3月期第2四半期	52,090	9.4	3,161	110.1	3,269	105.5	1,893	93.2

(注) 包括利益 3年3月期第2四半期 2,532百万円 (%) 2年3月期第2四半期 1,890百万円 (94.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第2四半期	132.84	
2年3月期第2四半期	99.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期第2四半期	73,976	40,192	54.3	2,109.13
2年3月期	73,173	42,953	58.7	2,254.01

(参考) 自己資本 3年3月期第2四半期 40,192百万円 2年3月期 42,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期		12.00		12.00	24.00
3年3月期		12.00			
3年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	10.8	2,200		1,900		2,600		136.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年3月期2Q	19,063,968 株	2年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	3年3月期2Q	7,734 株	2年3月期	7,724 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年3月期2Q	19,056,270 株	2年3月期2Q	19,056,277 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、令和2年11月4日に当社Webサイトにて公開する予定です。

<https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大、緊急事態宣言による活動自粛等の一連の影響により経済環境は急速に悪化いたしました。緊急事態宣言の解除後、経済活動の回復の兆しがみえ始めたものの、依然として先行きは不透明な状況にあります。

外食業界におきましては、経済活動の自粛影響に加え、行政からの営業自粛要請等、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、「各店舗へのアルコールの設置」「従業員の健康チェックと手洗いの徹底」「店内消毒の徹底」「マスクの着用」「換気システムによる店内の換気を常時実施」等の取組みを全国の店舗で実施し、食のインフラとしての責務を果たすべく、以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、牛めし業態12店舗、とんかつ業態4店舗、その他業態3店舗の合計19店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店11店舗、とんかつ業態6店舗の合計17店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第2四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,209店舗（うちFC6店舗、海外14店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態964店舗、とんかつ業態197店舗、鮎業態11店舗、その他の業態37店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、40店舗の改装（全面改装2店舗、一部改装38店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によるお持ち帰り・キャッシュレス決済のニーズの高まりにあわせ、お弁当WEB予約サイト「松弁ネット」での20%還元キャンペーンやUber Eats・出前館送料無料キャンペーン、PayPay支払20%還元キャンペーン等を開催いたしました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響を受けたことにより、前年同期比13.7%減の449億31百万円となりました。

売上高の減少により、固定費の占める割合が上昇したこと等により、売上原価につきましては、原価率が前年同期の32.6%から34.3%、販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の61.3%から71.2%となりました。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の66.1%から70.8%へと上昇いたしました。

以上の結果、営業損失は24億55百万円（前年同期は営業利益31億61百万円）、経常損失は23億73百万円（前年同期は経常利益32億69百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は25億31百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益18億93百万円）となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は739億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億3百万円増加いたしました。このうち、流動資産は213億5百万円となり、受取手形及び売掛金の減少があった一方、現金及び預金が18億90百万円増加した等によって、前連結会計年度末に比べ5億77百万円増加いたしました。また、固定資産は526億71百万円となり、減損損失の計上による有形固定資産の減少があった一方、繰延税金資産の増加等によって、前連結会計年度末に比べ2億26百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は337億84百万円となり、未払金、未払法人税等の支払いによる減少があった一方、借入金の増加等によって前連結会計年度末に比べ35億64百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は401億92百万円となり、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末に比べ27億60百万円減少となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の58.7%から54.3%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ19億70百万円増加し、105億34百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は34億54百万円（前年同期は33億50百万円の収入）となりました。

これは「税金等調整前四半期純損失」35億58百万円や、「未払消費税等の増減額」26億81百万円、「法人税等の支払額」16億22百万円といった資金減少要因があった一方、「減価償却費及びその他の償却費」21億9百万円、「減損損失」12億53百万円、「未収消費税等の増減額」9億85百万円といった資金増加要因があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は42億56百万円（前年同期は49億91百万円の支出）となりました。

これは新規出店・既存店改装や工場生産設備等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」41億66百万円や、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」3億14百万円といった資金減少要因があった一方、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入」2億36百万円といった資金増加要因があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は96億85百万円（前年同期は11億31百万円の収入）となりました。

これは「長期借入れによる収入」72億56百万円や、「短期借入れによる収入」40億99百万円といった資金増加要因があった一方、「長期借入金の返済による支出」11億38百万円や、「リース債務の返済による支出」2億60百万円、「配当金の支払額」2億28百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の新規感染者の発生は現在も続いており、当社へ影響を及ぼしております。

政府による緊急事態宣言解除後は、緩やかな回復傾向にあるものの、依然として今後の先行きは不透明な状況にあり、新型コロナウイルス感染症発生前の水準への回復には、時間を要すると見込んでおります。

新型コロナウイルス感染症回避のための取り組み強化、新商品の販売等の販売促進活動の強化による店内売上高の回復、及びテイクアウト需要に対応したお弁当販売の強化により、売上高の回復を目指します。また、コスト構造改革を推し進め、改善を図ってまいります。

令和3年3月期の連結業績予想数値につきましては、本日公表（令和2年11月4日）の「令和3年3月期通期業績に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,743,917	13,634,505
受取手形及び売掛金	2,190,912	1,591,474
商品及び製品	651,501	675,572
原材料及び貯蔵品	3,723,945	4,092,125
その他	2,417,590	1,311,442
流動資産合計	20,727,867	21,305,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,936,182	19,824,185
機械装置及び運搬具(純額)	1,959,668	2,882,346
工具、器具及び備品(純額)	2,228,469	2,394,170
リース資産(純額)	835,033	709,668
土地	9,341,954	9,341,954
建設仮勘定	3,948,174	159,537
有形固定資産合計	36,249,483	35,311,863
無形固定資産		
ソフトウェア	221,877	363,360
その他	183,216	91,127
無形固定資産合計	405,094	454,487
投資その他の資産		
投資有価証券	71,994	71,861
敷金及び保証金	12,349,260	12,117,990
長期前払費用	434,551	393,622
店舗賃借仮勘定	223,864	219,314
繰延税金資産	1,713,211	3,114,548
投資不動産(純額)	194,987	191,657
その他	812,647	805,974
貸倒引当金	△9,734	△9,621
投資その他の資産合計	15,790,782	16,905,347
固定資産合計	52,445,360	52,671,699
資産合計	73,173,228	73,976,818

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,195,727	2,036,789
短期借入金	86,552	4,185,114
1年内返済予定の長期借入金	2,276,884	3,188,624
未払金	5,795,497	3,303,652
リース債務	420,290	308,218
未払法人税等	1,535,794	281,932
賞与引当金	984,427	1,139,294
役員賞与引当金	—	454
資産除去債務	—	5,446
その他	3,472,693	672,559
流動負債合計	16,767,867	15,122,086
固定負債		
長期借入金	10,628,816	15,835,725
役員退職慰労引当金	567,800	567,800
リース債務	482,950	461,627
資産除去債務	1,602,225	1,631,561
繰延税金負債	3,948	4,786
その他	166,595	161,146
固定負債合計	13,452,336	18,662,646
負債合計	30,220,203	33,784,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,229
利益剰余金	29,418,516	26,658,418
自己株式	△16,461	△16,555
株主資本合計	43,021,131	40,261,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	832	740
為替換算調整勘定	△68,939	△69,678
その他の包括利益累計額合計	△68,107	△68,938
純資産合計	42,953,024	40,192,085
負債純資産合計	73,173,228	73,976,818

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自令和2年4月1日 至令和2年9月30日）
売上高	52,090,481	44,931,883
売上原価	16,962,846	15,410,790
売上総利益	35,127,634	29,521,092
販売費及び一般管理費	31,966,280	31,976,995
営業利益又は営業損失（△）	3,161,354	△2,455,902
営業外収益		
受取利息	10,853	9,511
受取配当金	1,575	1,575
受取賃貸料	113,118	90,452
その他	133,667	157,460
営業外収益合計	259,213	258,998
営業外費用		
支払利息	25,995	40,925
賃貸費用	109,996	99,562
その他	14,638	35,697
営業外費用合計	150,630	176,185
経常利益又は経常損失（△）	3,269,937	△2,373,089
特別利益		
固定資産売却益	59	17
受取補償金	—	25,000
収用補償金	89,316	70,475
その他	4,330	551
特別利益合計	93,706	96,045
特別損失		
固定資産除却損	6,327	2,955
店舗閉鎖損失	1,853	24,871
固定資産売却損	313	397
減損損失	227,794	1,253,024
特別損失合計	236,289	1,281,248
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	3,127,354	△3,558,293
法人税、住民税及び事業税	1,247,135	373,588
法人税等調整額	△13,132	△1,400,458
法人税等合計	1,234,003	△1,026,869
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,893,351	△2,531,423
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	1,893,351	△2,531,423

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,893,351	△2,531,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	546	△92
為替換算調整勘定	△2,976	△739
その他の包括利益合計	△2,429	△831
四半期包括利益	1,890,921	△2,532,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,890,921	△2,532,254
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自令和2年4月1日 至令和2年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	3,127,354	△3,558,293
減価償却費及びその他の償却費	1,932,947	2,109,981
減損損失	227,794	1,253,024
賞与引当金の増減額（△は減少）	35,389	154,987
受取利息及び受取配当金	△12,428	△11,086
支払利息	25,995	40,925
有形固定資産除売却損益（△は益）	△82,734	△67,140
店舗閉鎖損失	1,853	24,871
建設仮勘定・店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	404,353	450,304
売上債権の増減額（△は増加）	△297,429	599,234
たな卸資産の増減額（△は増加）	△445,358	△401,567
仕入債務の増減額（△は減少）	△423,752	△158,325
未払消費税等の増減額（△は減少）	△453,192	△2,681,962
未収消費税等の増減額（△は増加）	884,721	985,024
その他	△497,035	△571,760
小計	4,428,479	△1,831,781
法人税等の支払額	△1,077,824	△1,622,789
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,350,654	△3,454,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	△4,562,439	△4,166,215
有形固定資産の売却及び収用等による収入	89,654	70,523
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	△300,720	△314,030
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	97,594	236,944
利息及び配当金の受取額	2,579	4,429
関係会社株式の取得による支出	△243,224	—
その他	△74,948	△88,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,991,504	△4,256,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,500,000	4,099,681
短期借入金の返済による支出	△500,000	—
長期借入れによる収入	—	7,256,631
長期借入金の返済による支出	△1,271,940	△1,138,442
リース債務の返済による支出	△329,636	△260,192
自己株式の売却による収入	—	191
自己株式の取得による支出	—	△200
利息の支払額	△38,062	△43,378
配当金の支払額	△228,675	△228,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,131,686	9,685,615
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,827	△4,069
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△514,990	1,970,587
現金及び現金同等物の期首残高	6,311,916	8,563,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,796,925	10,534,505

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和2年6月29日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,674千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和2年6月29日 定時株主総会	普通株式	228,674	12	令和2年3月31日	令和2年6月30日	利益剰余金

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。